

2010年度 事業報告書

自 2010年4月 1日

至 2011年3月31日

特定非営利活動法人 開発教育協会（DEAR）



事業の概要

1. はじめに ～ 2010年度を振り返って ～

2010年度は、国内では経済不況が続き、雇用問題や貧困・格差の問題が深刻化しました。それに対して市民主体の権利を奪回する様々な活動が行なわれつつあり、DEARも分野を越えて他団体と協働、協力をすすめました。

教育現場では、新学習指導要領の導入に伴い、教育内容や時間数が大幅に増やされ、教員や子どもたちを取り巻く状況も大きく変化しました。一方で教科書の中では持続可能な社会や国際問題などがより多く扱われるようになり、学校教育の中の開発教育の可能性も高まっています。

世界に目を向けると、ミレニアム開発目標(MDGs)の中間年を迎えましたが、世界の貧困や開発の問題は未だ大きな課題を残しています。世界の貧困削減を人類共通の課題と認識し、意識・関心を高めるために開発教育の役割は益々重要になっていると確信し、政策提言やネットワーク作りにも力をいれました。

さらに、3月11日に起きた東日本大震災は、甚大な被害とともに、放射能汚染という目に見えない巨大な負債を次世代に残すことになりました。誰もが安全に安心して生活できる環境が一瞬のうちに消えてしまう恐怖を感じると共に、今回の原発問題では、どのような社会をつくり、どのような教育をすすめていくのか、の大きな問いが、私たちに投げかけられています。

開発教育は「共に生きる公正な地球社会の実現」という目標を掲げています。これを達成するためには、学びから行動へと、問題に積極的に関わっていく姿勢を育むことが、DEARの役割であると改めて実感しております。

そのようななかでDEARは、国内外の課題を見据えながら、教育をとおして、より公正な社会をつくるための事業を行ないました。

中期方針として掲げた5つの柱に関しては、実施体制を整え、事業を進めました。

また、年度当初に計画した6つの領域「Ⅰ. ネットワーク事業」「Ⅱ. 調査・研究事業」「Ⅲ. 情報・出版事業」「Ⅳ. 研修・講座事業」「Ⅴ. 政策提言事業」「Ⅵ. 組織強化事業」においては、概ね事業計画通りに各種事業を実施することがで

きました。

まずは、各中期方針の成果を以下に報告いたします。

1) 中期方針1 グローバル化による諸課題を「足もとの課題」から捉える視点の提示

地域の開発、環境、人権などの課題へどのように向き合うのか、また地域の課題に取り組むためにはどのようなファシリテーションが必要なのか、を学ぶための研修会を、大阪事務所の運営委員と協働で実施しました。各地の課題や取り組みを全国の参加者とともに共有し、話し合う時間が持てました。また、地域の課題に取り組むファシリテーションについては、ネットワーク会議でも先駆的な事例を共有しました。

全国研究集会では「先住民族」をテーマにした分科会をおこなうなど、地域で足もとの問題を考える機会を提供しました。

2) 中期方針2 学校教育への開発教育モデル事業の提案

2011年度より小学校が、2012年度より中学校・高校が新しい学習指導要領に準じたカリキュラムを実施します。指導要領の中には「持続可能な社会」などの項目が増えることから、教室の中で、開発教育の実施ができるように、事例収集やプログラム開発を行ないました。具体的には「授業づくりサークル」では小学校における実践事例の収集と共有を行ないました。また、小学校から使える教材として『写真で学ぼう！「地球の食卓」学習プラン10』を8月に発行しました。制作にあたっては多くの方から寄付をいただくことができました。その後、全研や全国各地での講座をとおして、教材や実践を広め、全国の学校や地域での学習会で活用されています。

さらに、学習環境づくりや、問題を子どもたち自身が解決する方法を考えることを日本で広げる「CR教育研究会」では、日本の学校や子どもたちの状況にあったCR教育の進め方を考え、教員研修や人権教育などで実施しました。

3) 中期方針3 国際協力NGOとの協働プログラムの実施

国連ミレニアム目標（MDGs）の達成のために社会の意識を喚起するための団体「動く→動かす」や教育協力NGOネットワーク（JNNE）のキャンペーンに積極的に参加し、教育ツールの作成やキャンペーン推進に協力しました。

また、バングラデシュの支援を行なうシャプラニールと、国内の路上生活者を支援するスープの会と、DEARの三者共催で「ダッカと新宿を考える～貧困を乗り越える市民のチカラ」を3回シリーズで行ない、国内と海外の貧困の背景やそれを乗り越えるつながりのあり方について考えることができました。

4) 中期方針4 地域との有機的なネットワークの再構築

第7回「開発教育全国ネットワーク会議」では地域の課題に取り組むファシリテーションについてや、地域の課題を扱う教材について、経験・情報を共有し、積極的な意見交換がされました。

また、3月11日に起きた東日本大震災の支援のためにDEAR東北緊急募金を開設しました。全国の会員や関係者に声をかけ、集めた募金は東北地域を基盤として被災者支援をしている会員団体に振り分けることとしました。さらに、震災ブログも立ち上げ、被災地の状況や支援の情報を掲載し継続的な関心の喚起や支援の強化を図っています。

5) 中期方針5 組織基盤の強化

自己財源の安定化のために、現在のデータベースを最大限に活用するための戦略として、新データベースシステムの導入、施行を行ないました。

また、2012年度に設立30周年を迎えることから、「30周年記念事業特別基金」を設置し、今年度は『地球の食卓』制作費などに活用しました。さらに、就業規則を今年度より施行し、労働環境を整備していくための検討をおこないました。

以下、各種事業の実施概要についてご報告いたします。

2. 各種事業報告

I. ネットワーク事業

1) 「担い手」連携強化事業

全国の開発教育実施団体と連携協力しながら、各地域ブロックの担い手（団体・個人）とのネットワークの維持強化や協働事業の実施に努めた。

また、第7回となる「開発教育全国ネットワーク会議」を3月5日～6日の日程で富坂キリスト教センター（東京・小石川）にて開催、担い手21名とDEAR関係者14名が参加した。分科会では「地域課題に向き合うファシリテーター」「日本の貧困・世界の貧困」をテーマにした学びのあり方の2つのテーマが設けられ、各地の現状や今後に向けた課題等が議論された。詳細に関しては、別途発行の報告書を参照のこと。なお、本事業の実施に際しては、地球環境基金からの助成を得た。

2) ESD人材育成研修

地域の課題への向き合い方についてや、地域の課題に取り組むファシリテーションのあり方などについて学ぶための研修会を、地域の担い手と協力して行った。今回は以下のフィールドワークを実施した。

① 「高山におけるコミュニティづくりとファシリテーターの役割」

日程：2010年12月4日（土）～5日（日）

場所：岐阜県高山市

講師・現地プログラムコーディネーター：竹内ゆみ子（ソムニード）

協力団体：（特活）ソムニード

内容：海外および国内の双方で持続可能な地域づくり・人づくりを行なうソムニードの経験から、その共通点と相違点を確認しつつ、ファシリテーションのあり方やプロセスについて学んだ。

参加者：5名

② 「地域を『もっと』元気にする調査法」を学ぶワークショップ

日程：2010年12月11日（土）～12日（日）

場所：北海道勇払郡安平町

講師：宮内泰介（北海道大学）

共催：ソーシャルベンチャーあんじょう家本舗

協力団体：特定非営利活動法人さっぽろ自由学校
「遊」／北海道大学大学院文学研究科宮内泰介研究室

内容：社会調査法の専門家である宮内泰介氏を講師に招き、ESD 実践者として身につけるべき、エンパワメントにつながるような調査の方法や視点・態度を学んだ。

参加者：27名

③「地域環境をいかした持続可能なまちづくり～森・食・人」

日程：2011年1月15日（土）～16日（日）

場所：京都府南丹市

コーディネーター：友前尚子

共催：森林環境ネットワーク、南丹市国際交流協会

内容：農林の里における多様な担い手による持続可能な地域づくりのあり方とはどのようなものか、またそのための住民と行政の協働のあり方を考えた。

参加者：15名

3) 海外ネットワーク事業

開発教育やESD推進のために構築してきた海外のネットワークをとおして、情報・経験共有をした。北タイのNGO、ISDEP（持続可能性教育促進研究所）のスタッフを招聘し、アジア学院で立教大学ESD研究センターと共催で研修会を開催した。

II. 調査・研究事業

1) 「開発教育研究会」

開発教育の研究実践活動の質的な進化や向上に向けて、関連する教育的課題や今日的課題などに関する調査研究活動を行う。今年度は以下のような各部会を設置した。

①「ESD開発教育カリキュラム」部会

『開発教育で実践するESDカリキュラムー地域を掘り下げ、世界につなげるための学びのデザイン』を学文社より発行した。

②「紛争解決教育」部会

紛争解決教育プログラムの日本の教育現場や地

域社会での実践におけるカリキュラムの開発に向けた研究活動を行った。さらに、仏教団体への連続研修や学校での教員向け研修、中学校での「人権講話」でのワークショップ実施など、講師派遣事業として、さまざまところで、開発したプログラムを実施した。

③授業づくりサークル

小学校・中学校で行っている実践を共有するとともに、新学習指導要領応じた教科書の分析と報告書の作成を行った。また、研究誌57号に報告を掲載した。

2) 第28回「開発教育全国研究集会」の開催

8月7日（土）から8日（日）までの2日間の日程で、「JICA地球ひろば」（東京都渋谷区）を会場に全国研究集会を開催した。今年から第1部「実践フォーラム」第2部「研究フォーラム」として2つの運営体制でおこなった。参加者数は講師や主催関係者を含めて318名。研究フォーラムのシンポジウムではオルタナティブな経済と開発教育のあり方について考えを深めた。なお、詳細に関しては別紙発行の報告書を参照のこと。

3) 研究誌『開発教育』の編集発行

第57号『オルタナティブな経済と開発教育』を8月に発行した。また、来年度の第58号の発行に向けた企画編集作業を進めた。さらに、現在の体裁と発行形態で5年がたったことから、今までのあり方を評価し、今後のあり方や体制を考えることとなった。そこで、2月号の会報に、研究誌についてのアンケートを同封した。63件の回答があり、内容やテーマに関してもさまざまなフィードバックがあった。

III. 情報・出版事業

1) 会報「DEARニュース」の編集発行

開発教育の関連情報をはじめ、DEARや各地の「担い手」などの活動状況を紹介することを目的とした会報を今年度も年6回（偶数月）発行した。

<発行実績>

・第144号（発行：4月1日）

- 特集「国際連帯税をめぐる世界・日本の動き」
- ・第145号（発行：6月1日）
特集「18歳成人と市民教育」
- ・第146号（発行：8月1日）
特集「なぜ開発教育が“足もと”の課題に取り
組むのか」
- ・第147号（発行：10月1日）
特集「オルタナティブな経済と開発教育」
- ・第148号（発行：12月1日）
特集「南アフリカの人々との20年」
- ・第149号（発行：2月1日）
特集「開発教育とフードマイレージ」

2) 新規教材図書の企画編集と制作発行

開発教育に関連する次のような新規の教材や図書の、企画編集や制作発行や増刷をおこなった。

①フォトランゲージ『地球の食卓』

世界の様々な食材を写した写真集『地球の食卓』の写真をつかい様々な学習プランを掲載した教材を作成・発行した。尚、教材作成のための経費を集めるため「地球の食卓募金」は191人から1,097,000円の寄付を集めることができた。

<教材概要>

『写真で学ぼう！「地球の食卓」学習プラン10』

企画・制作：地球の食卓タスクチーム

発行：開発教育協会

発行日：2010年8月1日

判型・頁数：テキストA4判・76頁

写真 B4判 39枚フルカラー

対象：小学生以上

『フード・マイレージ どこからくる？私たちの食べ物』

企画・制作：地球の食卓タスクチーム

発行：開発教育協会

発行日：2010年9月21日

判型・頁数：テキストA4判・44頁

対象：小学生以上

②既存図書の増刷

既存の教材で在庫が少ない『新ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら』を400部増刷した。尚、『ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら』は2003年3月に発行され

た初版から1万部を販売した。

③グローバル・エクスプレス「ワールドカップ」の発行

6月に南アフリカでサッカーワールドカップが開催され、関心を高め、考えてもらうために、「グローバル・エクスプレス」教材をウェブ上で配信した。ダウンロード数は約1万件あり、多くの反響があった。

<教材概要>

『グローバル・エクスプレス サンプル版 第12号 ワールドカップ』

発行：開発教育協会

発行日：2010年5月12日

判型・頁数：A4判・7頁

3) 出版物販売

当会発行の教材・図書資料の他、関係団体からの委託図書などを販売し、自己財源の強化を図った。また、『写真で学ぼう！「地球の食卓」学習プラン10』の販促のために、全国の大学や関係団体にDMなどを送り、購入を促した。

4) 広報資料作成

①ウェブサイトの運営

開発教育ポータルサイトとしてウェブサイトでの情報発信を行った。

<2010年4月～2011年3月>

・77,874 セッション 前回：62,572

→7万7千人が訪問

・285,255 ページビュー 前回：252,375

→28万5千ページが閲覧された

・3.66 平均ページビュー 前回：4.03

→1回の訪問で平均3.66ページを閲覧

・03:01分 平均サイト滞在時間 前回：03:10

→1回の訪問で平均3分間閲覧

・64.19% 新規セッション率 前回：60.72%

→新規訪問者が64%でリピーターが36%

教材、イベント、参加型学習、100人村、グローバルエクスプレスのページがよく見られている。

②スタッフブログの運営

<2010年4月～2011年3月>

※前回：2009年6月～2010年3月

・5,278 セッション 前回：3,550

- ・ 8,659 ページビュー 前回： 5,968
- ・ 1.64 平均ページビュー 前回： 1.68
- ・ 01:38 分 平均サイト滞在時間

講師派遣の報告や教材の実践ページがよく見られている。

③東日本大震災ブログの開設

震災をうけ、寄付の呼びかけや授業実践のヒントを掲載するブログを3月16日に開設した。

<2011年3月16日～3月31日>

- ・ 2,230 ページビュー

④メールマガジンの発行

毎月1回のメールマガジンの発行を開始し、主催事業や資料の情報を発信した。3月末現在約1,257名（前年比+283名）が登録している。

⑤資料請求者への対応

ウェブサイト上から無料での資料請求を開始した。全国から請求があり、毎月平均6件、72件（前年比-47件）に対応している。うち1件は元会員、6件は新規入会者となった。

IV. 研修・講座事業

1) 講師派遣事業

政府機関・自治体・教育委員会・学校／大学・自治体国際化協会・NGOなどからの講師派遣依頼に対して、DEARの役職員等を講師として計76件138回派遣した。今年度は大学や企業からの大口の依頼があり、単発ではなく継続的な研修を受けることが増えた。内容は「地球の食卓」や、「100人村」が多かった。

2) 教材体験フェスタ2011

当会のオリジナル教材等を使ったワークショップ体験を目的とする標記フェスタを、11年3月26日（土）、27日（日）に、東京YMCAにて開催する予定だったが、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、中止とした。尚、参加費をDEAR東北緊急募金に寄付してもらうように呼び掛けたところ、48名より231,000円の寄付を集めることができた。

3) 対立から学ぶワークショップ

CR教育研究会の活動と平行して下記のワークショップを開催し、計13名の参加があった。日本の高校で実践された事例も発表していただき、実際にやってみたいという声が多く聞かれた。

テーマ：「創造的な問題解決のために」

日程：8月1日～2日

会場：富坂キリスト教センター2号館

講師：CR教育研究会メンバー

内容：「解説：CR教育とは」「学習環境づくり」「対立の概念」「ウィン・ウィン解決法」「いろいろな気持ち」「ふりかえり」など。

4) 授業づくりサークル

授業づくりサークルの研究活動と平行して下記のワークショップを開催し、各回15名前後の参加があった。毎回発表の後に質疑応答や経験共有の時間を設けた。参加者の中から発表者が新たに出てきたり、学びあいの場になっている。

<前期>

第1回：6月5日（土）14:00～16:30

「世界となかよしプロジェクト～地域の国際化を考える授業づくり」

講師：加藤英嗣（小学校教員）

参加者：15名

第2回：6月26日（土）14:00～16:30

「ストリートチルドレン体験を通して～体験学習のその後の展開」

講師：原郁雄（小学校教員）

参加者：13名

第3回：9月4日（土）14:00～16:30

「地球の食卓」

講師：宮崎花衣（DEAR）

参加者：25名

<後期>

第1回：11月6日（土）14:00～16:30

「アメリカ合衆国の授業ー日本と世界のつながり」

講師：本山 明（中学校教員）

参加者：15名

第2回：1月15日（土）14:00～16:30
「微生物とわたしたちの暮らしー水も下水も、ゴミ処理も。保存食だって“微生物”」
講師：島田 晶子（小学校教員）
参加者：12名

第3回：2月19日（土）14:00～16:30
「私たちの暮らしと情報メディアとのつきあい方」
講師：米井慎一（小学校教員）
参加者：10名

5)「開発教育連続セミナー2010」

＜主管：大阪事務所＞

今年度は「ファシリテーターのための実践講座」をテーマに、全5回のセミナーを以下の通り実施した。

＜開催実績＞

日程：下記の通り
会場：大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）
共催：（財）大阪国際交流センター／JICA大阪センター

●第1回：11月21日（日）14:00～17:00
「太平洋の島々から考える人権・環境・平和～マーシャル諸島共和国・沖縄・ハワイ～」
講師：金山顕子氏（京都府立桃山高等学校）
参加者：29名

●第2回：12月19日（日）14:00～17:00
「割り箸からできる私たちの生きるカタチ～中国・アメリカ・日本」
講師：西上寿一氏（関西セミナーハウス開発教育研究会）
参加者：38名

●第3回：「教材体験フェスタ」
＜日時＞1月23日（日）10:00～15:30
＜内容＞
オリエンテーションと全体会
A 貿易ゲーム／地球の食卓Ⅰ／非識字体験ゲーム／つないで深めよう！環境問題
B 考えてみよう！協力のカタチ／地球の食卓Ⅱ／言葉がわからない体験ゲーム／アフリカから考える
C DEAR大阪主催の交流会「フェアトレードカフェ」

参加者：92名

●第4回：2011年2月13日（日）14:00～17:00
「国際協力に向き合う私たち～エチオピアの地域問題を切り口に」
講師：佐藤友紀氏（関西セミナーハウス開発教育研究会）
参加者：29名

●第5回：2011年3月12日（土）13:00～17:00
「番外編 ファシリテーションの基礎を学ぼう！教材体験と教材づくりの実践事例」
講師：昨年度ファシリテーター研修修了者
参加者：26名

6)各種講座

①「開発教育入門講座」

開発教育の基礎的理解を目的とした入門講座を毎月1回、計10回、204名の参加者を得て開催した。

②「平和ワークショップー核兵器のない世界に向けて」

米国の軍縮教育家であるキャサリン・サリバン氏を招き、平和ワークショップを開催した。核に対する恐怖や不安を共有し、核のない未来を考えるワークを通して、できることを考えた。

日程：10月30日（土）
場所：富坂キリスト教センター1号館
講師：キャサリン・サリバン（核問題専門家・軍縮教育家）
共催：立教大学ESD研究センター
参加者：13名

③「ファシリテーターのためのスキルアップ研修」＜主管：大阪事務所＞

教育関係者など教室の中でのESD実践者を対象に、ファシリテーションの技能や知識を学んだ。
日程：2010年9月11日～12日（日）
場所：JICA大阪国際センター
講師：木下理仁（かながわ開発教育センター）、中村絵乃（DEAR）
協力：JICA大阪、大阪国際交流センター
参加者：40名

④写真で学ぼう！「地球の食卓」体験講座 新規教材『写真で学ぼう！「地球の食卓」学習プ

ラン10』(DEAR、2010)、『フード・マイレージ〜どこからくる？私たちの食べ物』(DEAR、2010)をより広く活用してもらうために、全国各地で会員団体、個人と協力し、体験講座を開催した(10ヶ所・270名参加)。尚、この講座は庭野平和財団からの助成金で行なわれた。

日程：2010年12月4日
場所：沖縄県浦添市
共催：沖縄開発教育研究会
講師：八木亜紀子(事務局員)
参加者：24名

日程：2010年12月11日
場所：大阪府大阪市
共催：(特活)コモンビート関西
講師：佐藤友紀(理事)
参加者：33名

日程：2010年12月18日
場所：東京都武蔵野市
共催：武蔵野東小学校
講師：宮崎花衣(事務局員)、
上條直美(副代表理事)
参加者：45名

日程：2011年1月9日
場所：徳島県吉野川市
共催：(特活)TICO
講師：宮崎花衣(事務局員)
参加者：12名

日程：2011年1月24日
場所：愛知県名古屋市
共催：(特活)アユス仏教国際協力ネットワーク
講師：宮崎花衣(事務局員)
参加者：12名

日程：2011年1月24日
場所：岐阜県安八郡
共催：(特活)アユス仏教国際協力ネットワーク
講師：宮崎花衣(事務局員)
参加者：10名

日程：2011年1月29日
場所：東京都豊島区
共催：立教大学ESD研究センター
講師：宮崎花衣(事務局員)・津久井綾子(ボラ

ンティア)・木下ゆり(ボランティア)
参加者：24名

日程：2011年2月13日
場所：愛知県日進市
共催：(財)アジア保健研修所(AHI)
講師：西あい(事務局次長)・宮崎花衣(事務局員)
参加者：30名

日程：2011年2月19日
場所：福島県伊達市
共催：(特活)アユス仏教国際協力ネットワーク
講師：宮崎花衣(事務局員)
参加者：65名

日程：2011年2月24日
場所：大阪府北区
共催：(特活)アユス仏教国際協力ネットワーク
講師：佐藤友紀(理事)
参加者：15名

⑤「ケータイについて考えるワークショップ」
DEARボランティアチームが中心となり、上記セミナーを開催し、特に理系の人を中心に、ケータイの未来について考えた。

日程：2011年2月27日(日)16:00~18:30
場所：JICA地球ひろば
講師：西平久美子(ボランティア)・三宅麻子(ボランティア)
参加者：18名

7) 他団体との共催・協力事業

「日本YMCA同盟」の研修事業や「立教大学ESDセンター」の事業に協力したほか、他団体が主催する14件の事業を後援した。

①立教大学ESD研究センターとの協働事業
次のような同センターの主催事業等の実施に際して、企画運営や教材の編集などの形でこれに共催・協力した。

・ESD人材育成セミナー
日程：2010年7月4日~7日
場所：アジア学院
内容：ISDEP(持続可能教育促進研究所)から講師を招き、アジア学院の研修生に対して研修会を開催した。

②日本YMCA同盟「地球市民教育カリキュラム」

カリキュラムの内容や概要について助言し、カリキュラムの作成、研修運営に協力した。

日程：2010年8月

場所：YMCA東山荘

内容：ワークショップ、フィールドワーク、アクションプラン作りなど

参加者：日本、韓国、台湾、香港、マカオより50名

③孝道山研修事業

孝道山の職員向けに「紛争解決教育」の研修会を全6回行なった。

日程：2010年5月～7月 全6回

参加者：15名

④ダッカと新宿の現場から考えるシリーズ

シャプラニールとスープの会と三者共同で3回のシリーズを行なった。第1回は実践報告とワークショップを、第2回は、現場訪問（バングラデシュ、新宿）、第3回は現場訪問の報告とワークショップを行なった。国内の貧困と海外の貧困をその現状や、取り組みを通して理解を深め、できることを考える場になった。

第1回 「事例報告とワークショップ」

日程：2010年11月3日（祝）14：00～17：00

場所：早稲田奉仕園キリスト教会館6ABC

内容：シャプラニール、スープの会それぞれが「つながり」に焦点を当てながら活動の経験を語る事例報告、ダッカとストリートチルドレンと新宿のホームレス状態にある人「個人」の周囲の人との相関図をつくった。

参加者：40名

第2回 現場訪問

新宿：スープの会主催の路上訪問に参加

参加者 20名

バングラデシュ：

1月7日～12日 都市と農村を訪れ、プロジェクトのサイトを見学、住民、スタッフとの交流

参加者：6名

第3回 報告とワークショップ

日程：2011年2月11日（祝）

場所：東京ボランティア・市民活動センター

内容：新宿とバングラデシュそれぞれの現場訪問の感想共有と、貧困をなくすために新たなつながりを考えるワークショップを行なった。

参加者：50名

⑤映画「Garment Girls」上映会×トークイベント

シャプラニールとCSOネットワークとの共催でバングラデシュの縫製工場働く少女たちの生活を追ったドキュメンタリー映画の上映とトークイベントを開催した。

日程：2011年9月4日（土）

場所：お茶の水女子大学

参加者：200名

V. 政策提言事業

1) 行政に対する政策提言

外務省が「ODAの見直し」を行なうことから、援助行政に対して、開発教育の推進を政策に入れていくために積極的に働きかけた。

①援助行政に対する政策提言

a) ODA見直しへの提言

2010年6月18日（金）外務省にて「NGO・外務省定期協議会」が開催され、外務省作成の「ODAのあり方に関する検討・最終とりまとめ案」をたたき台に、意見交換をしました。その結果、最終とりまとめ案に対しての意見をNGOから募ることになり、開発教育協会からも特に「9. 国民の理解と支持の促進について」意見を提出した。

b) DACピアレビューへの提言

2010年12月6日（月）に「NGO／外務省 援助効果意見交換会」が開催され、質問書と提言書を提出しました。特に以下の点について提案した。

①多様な関係機関を巻き込んだ戦略策定

②広報ではなく開発教育の実施

③既存の市民主体の取り組みの強化

②教育行政に対する政策提言

a) ESD円卓会議

「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施のために、関係省庁、学識経験者、教育関係者、

NPO、企業等の関係者との意見交換の場としてESD円卓会議が実施され、DEARからは、評議員の田中治彦が出席し、開発教育的視点から提案を行なった。

2) キャンペーンへの協力

「動く→動かす」(G-CAP Japan)や教育協力NGOネットワーク(JNNE)正会員としてMDGsの実現や基礎教育の推進などに向けた意識喚起のキャンペーンに積極的に参加し、キャンペーンツールや研修へ協力をした。特にスタンド・アップキャンペーンに関しては、事務局次長の西がパブリックモビリゼーションチームのリーダーとして、広報や意識喚起のための研修やプロジェクト実施を担った。

①「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2010

テーマ：世界一大きな授業「ゴールはひとつ！世界中の子どもに教育を」

日程：2010年4月20日

協力内容：教員の手引の作成、助言、広報

②スタンド・アップ キャンペーン

日程：2010年9月17日

協力内容：スタンド・アップキャンペーン授業ワークシート、解説編の作成、広報

VI. 組織強化事業

1) 設立30周年準備事業

①組織・事業評価

2012年に設立30周年を迎えるにあたり、DEARの組織のあり方や、開発教育がどのようなインパクトを社会に与えたかなどの評価を行なう委員会を立ち上げ、準備を進めた。尚、そこで挙がってきた指標やデータは今後30周年事業の各委員会に引き継ぐこととなった。

②記念事業準備

30周年記念事業の企画や準備を進めるための委員会を立ち上げ、方針や検討した。

2) データベースシステムの導入

JICAアドバイザー制度を活用し、データベースシステムSales forceを導入した。

その結果、セミナーの参加や書籍購入などの履歴をより有効に活用し、個々のニーズに対応した広報やコミュニケーションが可能になった。

一方で会員拡大については具体的な活動ができなかったため、来年度以降すすめていく。

3) 就業規則等整備事業

事務局職員の労働環境や福利厚生改善を目的として、社会保険労務士の助言指導の下で就業規則や給与規定の作成・整備を行った。

処務の概要

● 1 : 会員に関する事項

2010年3月末現在の会員数は、次の通り。ただし、括弧内は昨年末比の数字。

正 会 員 団 体 28団体 (+8団体)
 個 人 452名 (+31名)

賛助会員 団 体 16団体 (-6団体)
 個 人 240名 (-21名)
 (内学生会員 : 40名) (-11名)

<参考> 団体会員 44団体 (+2団体)
 個人会員 692名 (+9名)

● 2 : 役員に関する事項

(註 : 役員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです。)

<代表理事>

岩崎裕保 (帝塚山学院大学)

<副代表理事>

上條直美 (立教大学)

湯本浩之 (立教大学)

<常任理事>

田中浩平 ((財) 千葉YMCA)

山西優二 (早稲田大学)

<理事>

阿部眞理子 ((特活) 国際ボランティアセンター山形 (IVY))

大江 浩 ((社) 日本キリスト教海外医療協力会)

斎藤 聖 ((特活) 地球の木)

佐藤友紀 (DEAR大阪)

佐渡友哲 (日本大学)

筒井哲朗 ((特活) シャプラニール=市民による海外協力の会)

浜本裕子 (YMCA 学院高等学校)

韓 朱仙 ((特活) コモンビート)

藤野達也 ((財) PHD協会)

本山 明 (公立中学校教員)

中村絵乃 ((特活) 開発教育協会)

<監事>

重田康博 (宇都宮大学)

山崎唯司 ((独) 国際協力機構広尾センター)

<評議員>

阿久澤麻理子 (兵庫県立大学)

磯田厚子 ((特活) 日本国際ボランティアセンター / 女子栄養大学)

伊藤通子 (とやま国際理解教育研究会 (TIE))

榎井 縁 ((財) とよなか国際交流協会)

黒田かをり (CSOネットワーク)

黒田貴史 (明石書店)

嵯峨創平 ((特活) 環境文化のための対話研究所)

白木朋子 ((特活) ACE)

田中治彦 (立教大学)

田中 博 (参加型評価ファシリテーター)

千葉 保 (國學院大学非常勤講師)

椿原 恵 (コミュニティコミュニケーション・サポートセンター (Comm))

永田佳之 (聖心女子大学)

中野民夫 ((株) 博報堂)

長畑 誠 ((社) あいあいネット)

奈良崎文乃 (国際NGO職員)

齋川恭子 ((特活) WE21 ジャパン)

ヘッセ杉山尚子 (生涯学習・異世代異文化コミュニケーション・コーディネーター)

松本智量 ((特活) アーユス=仏教国際協力ネットワーク)

三輪敦子 (ユニフェム大阪)

諸英樹 (ニュー・インターナショナルリスト)

横山由利亜 ((財) 日本YMCA同盟)

● 3 : 会員総会に関する事項

2010年度定期会員総会

と き : 5月29日 (土)

と ころ : 富坂キリスト教センター1号館会議室

議 案 :

第1号議案 2009年度事業報告および収支報告について

第2号議案 2010年度事業計画および収支予算について

第3号議案 2010-2011年度役員改選について

● 4 : 理事会に関する事項

第1回理事会

と き：5月29日（土）

ところ：富坂キリスト教センター1号館会議室

議 案：

<報告・協議>

- 1) 正副代表理事および常任理事の選出
- 2) 各種委員会の設置および委員選任
- 3) 企画推進委員の委嘱
- 4) 理事の役割

第2回理事会

と き：10月23日（土）

ところ：富坂キリスト教センター1号館会議室

議 案：

<協議>

- 1) 上半期の事業報告・収支報告
- 2) 下半期事業計画
- 3) 研究誌について
- 4) 来年度予算について
- 5) その他

第3回理事会

と き：3月4日（金）

ところ：立教大学5号館1階第一会議室

議 案：

<協議>

- 1) 2010年度の事業報告・収支報告
- 2) 2011年度事業計画・収支予算案
- 3) 研究誌について
- 4) NGO-JICA協議会 分科会設置について
- 5) その他

第4回理事会

と き：5月7日（土）

ところ：富坂キリスト教センター1号館会議室

議 案：

<協議>

- 1) 2010年度の事業報告案・収支報告案について
- 2) 2011年度の事業計画案・収支予算案について
- 3) 研究誌について
- 4) 30周年記念事業について
- 5) 定款の変更について
- 6) その他

●5. 評議員会に関する事項

第1回評議員会

と き：9月25日（土）

ところ：富坂キリスト教センター1号館会議室

議 案：

- 1) DEAR報告：

- ①DEAR組織について
- ②中期計画方針・上半期報告

- 2) 協 議：グループディスカッション

- ①収入アップ計画

報告・課題提起：白木朋子氏（(特活)ACE）

- ②「地球の食卓」販促計画

報告・課題提起：宮崎花衣（DEAR）

- ③そのほか

第2回評議員会

と き：1月22日（土）

ところ：立教大学5号館 5303教室

- 1) DEAR報告：

- ①2010年度事業報告

- ②2011年度事業計画

- 2) 協 議：グループディスカッション

- ①持続可能な開発のための教育（ESD）の10年、これまでとこれから

報告・課題提起：永田佳之氏（聖心女子大学）

●6：各種委員会に関する事項

本年度は、次のような各種委員会が理事会内に設置され、当会の運営や事業について協議を行った。

（註：各種委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです。）

- 1) DEAR大阪運営委員

委員長：藤野達也（(財)PHD協会）

委員：阿久澤麻理子（兵庫県立大学）／荒川共生

（マイ・チケット）／岩崎裕保（帝塚山学院大学）

／内田弘志（YMCA総合研究所）／大森容子

（(財)滋賀県国際協会）／佐藤友紀（高校教員）／

談儀善弘（高校教員）／友前尚子（小学校教員）／

仲川順子（地球市民フォーラムなら）／永井道子

（(財)神戸YMCA）／浜本裕子（YMCA学院高等

学校）／榛木恵子（(特活)関西NGO協議会）

／丸山まり子（小学校教員）／向井一朗（JICA

職員）／三輪敦子（ユニフェム大阪）／山中信幸

（柳学園中学校・高等学校）

- 2) 「開発教育」編集委員会

委員長：山西優二（早稲田大学）

委 員：磯田厚子（女子栄養大学）／岩崎裕保（帝

塚山学院大学）／上條直美（立教大学）／黒田貴史

（明石書店）／佐渡友哲（日本大学）／重田康博

(宇都宮大学) / 田中治彦 (上智大学) / 長畑誠
(社) あいあいネット / 西岡尚也 (琉球大学) /
湯本浩之 (立教大学)

<会議詳細>

第1回編集委員会 11月30日

ところ：早稲田大学山西研究室

第2回編集委員会 12月22日

ところ：上智大学田中研究室

第3回編集委員会 2月8日

ところ：明石書店会議室

●7. 企画推進委員会および企画推進会議に関する事項 (注：企画推進委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです。)

1) 企画推進委員

委員長：阿部秀樹 (会社員)

副委員長：石川一喜 (拓殖大学)

委員：鈴木隆弘 (清和大学) / 浜田祐子 (K-DEC) / 米井慎一 (私立小学校教員)

2) 企画推進会議

第1回企画推進会議 7月16日 (金)

ところ：富坂キリスト教センター2号館会議室

第2回企画推進会議 11月4日 (木)

ところ：富坂キリスト教センター2号館会議室

第3回拡大企画推進会議 2月26日 (土) ~ 27日 (日)

ところ：立教大学新座キャンパス太刀川交流記念会館 会議室

●8：プロジェクト・チームに関する事項

本年度は、以下のようなプロジェクト・チームが企画推進委員会内に設置され、各事業や活動の企画運営にあたった。

①開発教育研究会

a) 「紛争解決教育研究会」部会

b) 「授業づくりサークル」部会 (リーダー：本山明)

②第28回「開発教育全国研究集会」実行委員会

③研究誌「開発教育」編集委員会 (編集長：山西優二)

④会報「DEARニュース」編集委員会 (リーダー：阿部秀樹)

⑤「開発教育入門講座」

⑥「地球の食卓」作成チーム

⑦「グローバル・エクスプレス」(リーダー：石川一喜)

●9：職員に関する事項

<事務局>

事務局長 中村 絵乃 (有給・常勤・専従)

事務局次長 西 あい (有給・常勤・専従)

事業担当 八木 亜紀子 (有給・非常勤)

事業担当 宮崎 花衣 (有給・非常勤)

経理・総務担当 大久保 美智彦 (有給・非常勤)

総務担当 中田 洋子 (有給・非常勤)

<大阪事務所>

所長 佐藤 友紀 (無給・非専従)

次長 浜本 裕子 (無給・非専従)

●10：インターン・ボランティアに関する事項

今年度に事務局で受け入れを行ったインターン・ボランティアは次の通り。

<事務局インターン>

米田和希子 (社会人、2010年4月~2011年3月)

中村夕梨子 (社会人、2010年8月~12月)

湯本香菜美 (桜美林大学、2010年8月)

<事務局ボランティア>

滝本雅章 (社会人、2010年4月~2011年3月)

鶴澤淳一 (立教大学大学院、2010年7月~2011年2月)

関 千都 (東京大学大学院、2010年8月~9月)

三宅麻子 (首都大学東京大学院、2010年9月~2011年3月)

西平久美子 (社会人、2010年11月~2011年3月)

また、第28回開発教育全国研究集会には65名のボランティア参加があった。

●11：会員団体

今年度DEARが会員として参加した団体は次の通り。

<正会員>

・(特活) 国際協力NGOセンター (JANIC)

・教育協力NGOネットワーク (JNNE)

・(特活) 「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 (ESD-J)

・「動く」→「動かす」

・アジア南太平洋成人教育協議会 (ASPBAE)

<準会員>

・(特活) 関西NGO協議会

以上

<資料1> 出版・編集・取材協力 など

<単行本：企画協力>

- ①『開発教育で実践するESDカリキュラム—地域を掘り下げ、世界とつながる学びのデザイン』
(2010年8月)
発行：学文社
内容：企画・編集協力
- ②『ミスキャンパスpresents 世界を変える仕事 44』
(2010年11月16日)
発行：ディスカヴァー・トゥエンティワン
内容：DEARの活動の紹介
- ③『Your World 英語テキスト／国際理解教育テキスト』(2010年10月1日)
発行：(株)サクソソコート パブリッシング
内容：編集・校正 協力

<雑誌>

- ①「協力隊を育てる会ニュース」(2010年4月)
発行：(社)協力隊を育てる会
内容：スタッフ宮崎の活動紹介
- ②「遥+ (はるか・プラス)」(2010年5月)
発行：(株)ぎょうせい
内容：開発教育入門講座の紹介
- ③「遥+ (はるか・プラス)」(2010年6月)
発行：(株)ぎょうせい
内容：グローバル・エクスプレス—2010年ワールドカップの紹介
- ④「食農教育 11月号」(2010年10月)
発行：(社)農山漁村文化協会
内容：教材『地球の食卓』の紹介
- ⑤「ネットワーク」(2010年11月)
発行：東京ボランティア・市民活動センター
内容：教材『地球の食卓』の紹介
- ⑥「Migrants Network」(2010年12月)
発行：(特活)移住労働者と連帯するネットワーク
内容：教材「グローバル・エクスプレス／ワールドカップ南アフリカ大会」の紹介

- ⑦「食農教育 12月号」(2010年11月)
発行：(社)農山漁村文化協会
内容：教材『地球の食卓』の紹介
- ⑧「歴史地理教育 2月号」(2011年2月)
発行：歴史教育者協議会
内容：教材『地球の食卓』の紹介
- ⑨「10年の経験を未来の力にする記録」
(2010年6月)
発行：(特活)ハンガーフリーワールド
内容：啓発事業へのコメント

<新聞>

- ①朝日新聞(2010年7月11日)
題目：教育欄「W杯「私の代表」どう選ぶ？」
内容：教材「グローバル・エクスプレス／ワールドカップ南アフリカ大会」の紹介
- ②下野新聞(2010年8月29日)
題目：「世界問題をゲーム体験」
内容：講師派遣プログラムの様子と教材『ワークショップ版・世界がもし100人の村だったら』の紹介
- ③社会新報(2010年10月6日)
題目：「ゲーメント・ガールズ」上映会とトークイベント
内容：シャプラニールとCSOネットワーク共催の「ゲーメント・ガールズ」上映会とトークイベントの様子
- ④苫小牧民報(2010年12月13日)
題目：「まちおこしへ研さん」
内容：北海道勇払郡安平町で開催したフィールドスタディ「地域を『もっと』元気にする調査法」を学ぶワークショップの様子

<ニュースレター>

- ①「めろん」(2010年4月)
発行：(財)箕面市国際交流協会
内容：「対立」から「創造」を生むワークショップの報告

- ②「K I F NEWS」(2010年5月)
発行：(財) かながわ国際交流財団
内容：『市民学習実践ハンドブック』の紹介
- ③「北海道の国際協力情報誌・であい」(2010年6月)
発行：(社) 北方圏センター
内容：教材「子どもとできる創造的な対立解決－実践ガイド」の紹介
- ④「LUSH TIMES」(2010年7月)
発行：(株) ラッシュジャパン
内容：エシカルキャンペーン「NO MORE PALM PLANTATION」記事作成に協力
- ⑤「Lake No.81」(2010年10月)

- 発行：(財) 滋賀県国際協会
内容：国際教育ワークショップ「子どもとできる創造的な対立解決」報告
- ⑥「れすばす東京10月号」(2010年10日)
発行：東京都国際交流委員会
内容：DEARの活動と教材「地球の食卓」の紹介
- ⑦「春光」(2011年1月)
発行：(特活) アーユス仏教国際協力ネットワーク
内容：DEAR活動紹介
- ⑧「あだたら 2011年冬号」(2011年1月)
発行：(独) 二本松青年海外協力隊訓練所
内容：講師派遣の報告
- 以上

<資料2> 「講師派遣」の実績一覧 (76件 138回)

- 1「アーバン福祉学科 授業」(2010.4.19 /計2回)
主催：大正大学
内容：野宿問題
対象：大学1年生
派遣者：中村絵乃(事務局長)・米田和希子(インターン)・江口亜由美(インターン)
- 2「今、あなたに知ってほしい世界の現実」(2010.5.19)
主催：パナソニック(株)、龍谷大学、(特活) 関西NGO協議会
内容：世界が目指す8つのゴール(MDGs)
対象：一般
派遣者：佐藤友紀(理事)
- 3「南北問題を考え、世界の構造を体験してみるワークショップ」(2010.5.22)
主催：(株) グランマ
内容：新・貿易ゲーム
対象：一般
派遣者：中村絵乃(事務局長)・滝本雅章(ボランティア)・米田和希子(インターン)・江口亜由美(インターン)
- 4「ファシリテーション シンポジウム」(2010.6.3)
主催：(株) ラッシュジャパン
内容：パーム油のはなし
対象：職員
派遣者：八木亜紀子(事務局長)
- 5「鯉淵小学校授業」(2010.6.8/計2回)
主催：水戸市教育委員会 好文カレッジ
内容：100人村
対象：小学6年生
派遣者：中村絵乃(事務局長)・宮崎花衣(事務局長)
- 6「NCC基礎論Ⅰ」(2010.6.15)
主催：大正大学NCC
内容：100人村
対象：大学生
派遣者：西 あい(事務局長)
- 7「鎌倉女学院高校 研修会」(2010.6.19/計2回)
主催：(財) かながわ国際交流財団
内容：パーム油
対象：高校生

- 派遣者：中村絵乃(事務局長)・宮崎花衣(事務局長)
- 8「鎌倉女学院高校 研修会」(2010.6.19/計2回)
主催：(財) かながわ国際交流財団
内容：ケータイの一生
対象：高校生
派遣者：西 あい(事務局長)・米田和希子(インターン)
- 9「聖ヨゼフ学園 総合学習」(2010.6.24)
主催：聖ヨゼフ学園
内容：新・貿易ゲーム
対象：高校生
派遣者：西 あい(事務局長)・米田和希子(インターン)
- 10「協働型まちづくり研究会」(2010.6.30)
主催：(社) 地域問題研究所
内容：コミュニティオーガナイザーについて パネリスト
対象：市町村職員・一般
派遣者：西 あい(事務局長)
- 11「寿小学校授業」(2010.7.2/計3回)
主催：水戸市教育委員会 好文カレッジ
内容：100人村
対象：小学6年生
派遣者：中村絵乃(事務局長)・宮崎花衣(事務局長)・韓朱仙(理事)
- 12「人権講話」(2010.7.5/計2回)
主催：中野第三中学校
内容：コミュニケーション・アサーション
対象：中学1年生・2年生
派遣者：中村絵乃(事務局長)・吉田直子(ボランティア)・藤木優子(ボランティア)・中村夕梨子(インターン)
- 13「大阪私学国際教育研究会一泊研修会」(2010.7.9)
主催：大阪私学国際教育研究会
内容：援助する前に考えよう、など
対象：高校教員
派遣者：浜本裕子(理事)
- 14「総合演習」(2010.7.15)
主催：実践女子大学
内容：ケータイの一生
対象：大学生

派遣者：西 あい（事務局次長）

15「国際教育ワークショップ」（2010.7.17）

主催：（財）滋賀県国際協会

内容：対立解決

対象：教員・一般

派遣者：中村絵乃（事務局長）

16「真実を見極めるメディアリテラシー～修得編」（2010.7.20）

主催：（社）久留米青年会議所

内容：グローバル・エクスペリエンス

対象：青年会議所会員

派遣者：八木亜紀子（事務局員）

17「校内職員夏季研修」（2010.7.30）

主催：堺市立三原台中学校

内容：ファシリテーターの心得

対象：教員

派遣者：岩崎裕保（代表理事）

18「国際教育セミナー」（2010.7.31）

主催：JICA大阪

内容：地球の食卓

対象：教員・一般

派遣者：佐藤友紀（理事）

19「日本語指導者養成講座」（2010.8.4）

主催：横浜市教育委員会 指導企画課

内容：100人村

対象：小中学校教員

派遣者：西 あい（事務局次長）

20「国際協力NGO論」（2010.8.5）

主催：桜美林大学

内容：パーム油

対象：大学生

派遣者：宮崎花衣（事務局員）

21「多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー」（2010.8.10）

主催：JICA兵庫

内容：地球の食卓

対象：教員・一般

派遣者：佐藤友紀（理事）

22「校内研修会」（2010.8.12）

主催：島田市立島田第一中学校

内容：参加型学習

対象：中学校教員

派遣者：八木亜紀子（事務局員）

23「地球市民ひろば 地球の食卓ワークショップ」（2010.8.18）

主催：（財）かながわ国際交流財団

内容：地球の食卓

対象：教員・一般

派遣者：宮崎花衣（事務局員）

24「社会体験研修」（2010.8.19）

主催：（独）国際協力機構

内容：100人村

対象：教員

派遣者：中村絵乃（事務局長）

25「ファミリーデー」（2010.8.20／3回）

主催：（株）大和証券グループ本社

内容：世界格差・文化の多様性

対象：5歳～小3、小4～中3

派遣者：韓朱仙（理事）・宮崎花衣（事務局員）

26「JICAと国際協力入門」（2010.8.20,23／2回）

主催：（独）国際協力機構 筑波国際センター

内容：国際協力

対象：大学生・大学院生

派遣者：西 あい（事務局次長）

27「YMCA地球市民育成講座」（2010.8.20-25／計5回）

主催：（財）日本YMCA同盟

内容：新・貿易ゲーム・100人村・アクションプランづくり

対象：大学生・ユース

派遣者：中村絵乃（事務局長）・上條直美（理事）

28「那須国際交流フェスティバル」（2010.8.28）

主催：大田原国際交流会

内容：100人村

対象：一般

派遣者：中村絵乃（事務局長）

29「国際理解教育・開発教育セミナー」（2010.8.29）

主催：JICA四国・国際理解の風をつくる会

内容：新・貿易ゲーム

対象：教員・大学生

派遣者：八木亜紀子（事務局員）

30「松阪伊勢ミニ人権大学講座」（2010.9.2）

主催：（財）反差別・人権研究所みえ

内容：参加型研修

対象：県民・行政職員・教職員

派遣者：向井一朗（大阪運営委員）

31「国際理解教育研究会」（2010.9.12）

主催：JICA中国国際センター

内容：ESDについて、パーム油

対象：教員・一般

派遣者：山中信幸（大阪運営委員）

32「開発教育スキルアップ連続講座」

（2010.9.21,22／計2回）

主催：中国地区開発教育スキルアップ連続講座実行委員会

内容：対立から学ぶワークショップ

対象：一般・学生

派遣者：中村絵乃（事務局長）

33「企業共催ボランティアセミナー」（2010.9.21）

主催：大和証券、三井住友、住友商事、三菱東京UFJ

内容：100人村

対象：社員

派遣者：上條直美（副代表理事）・宮崎花衣（事務局員）

34「食卓の牛肉から見える世界・地球の食卓」（2010.10.2）

主催：JICA四国、香川県国際交流協会

内容：地球の食卓・牛肉から見える世界

対象：教員・一般

派遣者：佐藤友紀（理事）

35「国際NGO論」（2010.10.6）

主催：龍谷大学

内容：大学生

対象：国際協力論

派遣者：佐藤友紀（理事）

36「平和のつどい」（2010.10.8）

主催：西久保保育園

内容：100人村

対象：幼児・保護者

派遣者：中村絵乃（事務局長）・米田和希子（インターン）・三宅麻子（ボランティア）

37「教員ワークショップ・実践研究会」（2010.10.20）

主催：（財）武蔵野市国際交流協会

内容：地球の食卓

対象：教員

派遣者：八木亜紀子（事務局員）

38「千波小学校 5年生授業」（2010.10.22／計4回）

主催：水戸市教育委員会 みと好文カレッジ
内容：100人村
対象：千波小学校 5年生
派遣者：西あい（事務局次長）・韓朱仙（理事）

39「第36回「東南アジア青年の船」(2010.10.27)
主催：(財)青少年国際交流推進センター
内容：新・貿易ゲーム
対象：ASEANの若者
派遣者：中村絵乃（事務局長）・滝本雅章（ボランティア）・
米田和希子（インターン）・西平久美子（ボランティア）

40「とつかボランティア支援向上セミナー」(2010.11.1)
主催：(社)横浜市戸塚区社会福祉協議会
内容：ボランティア・参加型学習
対象：ボランティア志望者
派遣者：西あい（事務局次長）

41「地球市民講座」(2010.11.10)
主催：千代田区
内容：ケータイの一生
対象：一般
派遣者：中村絵乃（事務局長）・滝本雅章（ボランティア）

42「総合演習」(2010.11.11)
主催：実践女子大学
内容：参加型学習
対象：大学生
派遣者：西あい（事務局次長）

43「大阪市職員人権指導者研修」(2010.9~10 /計6回)
主催：大阪市民局人権室、大阪市職員人材開発センター
内容：100人村、参加型研修の実践など
対象：大阪市課長代理級職員
派遣者：佐藤友紀（理事）・浜本裕子（理事）・西あい（事務局次長）

44「教員研修」(2010.11.17)
主催：東京都立松原高校
内容：対立から学ぶワークショップ
対象：教員
派遣者：中村絵乃（事務局長）

45「愛媛教育研究大会（中学校の部）」(2010.11.26)
主催：愛媛大学教育学部附属中学校
内容：ESDについて
対象：教員
派遣者：岩崎裕保（代表理事）

45「JICA-NGOパートナーシップ講座」
(2010.12.1-2 /計2回)
主催：JICA大阪
内容：対立から学ぶワーク
対象：アジア、アフリカ、中南米地域の研修生
派遣者：中村絵乃（事務局長）

46「次世代を担う青少年育成推進事業」
(2010.12.4)
主催：沖縄県教育庁生涯学習振興課
内容：地球の食卓
対象：中高生
派遣者：宮崎花衣（事務局員）

47「ふくしまグローバルセミナー」
(2010.12.11-12 /計3回)
主催：福島県国際理解教育ネットワーク
内容：オープニング、地球の食卓、クロージング
対象：一般
派遣者：中村絵乃（事務局長）

48「川崎市立榊形中学校公開授業」(2010.12.17)
主催：(株)日清製粉グループ本社
内容：地球の食卓

対象：中学生
派遣者：宮崎花衣（事務局員）

49「ボランティア講座」(2010.12.15)
主催：聖学院大学
内容：対立から学ぶワークショップ
対象：大学生
派遣者：中村絵乃（事務局長）

50「特別講座」(2010.12.17)
主催：愛知淑徳大学
内容：貿易ゲーム
対象：大学生
派遣者：中村絵乃（事務局長）

51「国際ワークショップ」(2010.12.19)
主催：つくば国際理解教育ひろば
内容：地球の食卓
対象：一般
派遣者：上條直美（副代表理事）・宮崎花衣（事務局員）

52「人権啓発指導者養成講座」(2010.12.22,1.19/計2回)
主催：大阪市鶴見区役所
内容：パーム油、100人村
対象：一般
派遣者：荒川共生（大阪運営委員）

53「内原小学校 6年生授業」(2011.1.20)
主催：水戸市教育委員会 みと好文カレッジ
内容：100人村
対象：内原小学校 6年生
派遣者：宮崎花衣（事務局員）

54「地域国際化協会職員国内研修会」(2011.1.21)
主催：地域国際化協会連絡協議会
内容：地球の食卓、ファンリテーション
対象：地域国際化協会職員
派遣者：中村絵乃（事務局長）

55「総合的な学習の時間」(2011.1.27/計3回)
主催：県立港北高校
内容：貿易ゲーム・100人村・パーム油
対象：中学生
派遣者：西あい（事務局次長）・宮崎花衣（事務局員）・米田和希子（インターン）・鶴澤淳一（ボランティア）

56「特別講座」(2011.1.27)
主催：新潟大学付属長岡中学校
内容：100人村
対象：中学生
派遣者：中村絵乃（事務局長）

57「フェアトレード学習会」(2011.1.29)
主催：生活クラブ生協まち大田
内容：100人村
対象：一般
派遣者：中村絵乃（事務局長）

58「地球の食卓体験講座」(2011.1.29/計3回)
主催：立教大学ESDセンター
内容：地球の食卓
対象：教育関係者
派遣者：宮崎花衣（事務局員）、津久井綾子（ボランティア）・木下ゆり（ボランティア）

59「国際理解ウィーク」(2011.2.2-3 /計2回)
主催：大森高校定時制
内容：貿易ゲーム・ケータイの一生
派遣者：中村絵乃（事務局長）・西平久美子（ボランティア）・三宅麻子（ボランティア）

60「ボランティア講座 名古屋」(2011.2.3)
主催：大和証券、三井住友、住友商事

- 内容：100人村
対象：一般
派遣者：上條直美（副代表理事）
- 61「ボランティア講座 大阪」（2011.2.4）
主催：大和証券、三井住友、住友商事
内容：100人村
対象：一般
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 62「ファンドレイジング・日本2011」（2011.2.5）
主催：（特活）日本ファンドレイジング協会
内容：地球の食卓募金のファンドレイジング
対象：一般
派遣者：八木亜紀子（事務局員）・中村絵乃（事務局長）
- 63「ワンワールドフェスティバル」（2011.2.5）
主催：ワンワールド実行委員会
内容：チョコレート・地球の食卓
対象：一般
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 64「研修セミナー」（2011.2.16）
主催：仏教NGOネットワーク（BNN）
内容：パーム油
対象：BNN会員、一般
派遣者：中村絵乃（事務局長）・米田和希子（インターン）・西平久美子（ボランティア）・三宅麻子（ボランティア）
- 65「国際理解授業」（2011.2.21-22/計5回）
主催：東京医薬専門学校
内容：100人村、野宿者、パーム油など
対象：教員・一般
派遣者：中村絵乃（事務局長）・西あい（事務局次長）・逆瀬川愛貴子（ボランティア）
- 66「市民講座」（2011.2.11）
主催：守口市立中央公民館
内容：フェアトレード～こころにやさしいチョコ
対象：一般
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 67「開発教育上級実践者育成プログラム」（2011.2.20/計2回）
主催：JICA駒ヶ根
内容：援助する前に考えよう
対象：青年海外協力隊OB
派遣者：西あい（事務局次長）・宮崎花衣（事務局員）
- 68「地球ごはんの日」（2011.2.24）
主催：（特活）国際協力NGOセンター
内容：地球の食卓
対象：一般
- 派遣者：上條直美（副代表理事）
- 69「グローバルセミナー2010」（2011.2.26）
主催：JICA埼玉デスク
内容：援助する前に考えよう
対象：教員・一般
派遣者：西 あい（事務局次長）
- 70「第2回国際教育主任研修会」（2010.3.3 /計3回）
主催：さいたま市国際教育協議会、さいたま市教育委員会
内容：レヌカの学び
対象：国際教育主任
派遣者：西 あい（事務局次長）
- 71「国際科開発途上国理解プログラム」（2011.3.4）
主催：川崎市立橋高等学校
内容：ケータイの一生
対象：高校2年生
派遣者：中村絵乃（事務局長）・西平久美子（ボランティア）
- 72「教員研修」（2011.3.1）
主催：流通経済大学
内容：参加型学習
対象：教員
派遣者：中村絵乃（事務局長）・宮崎花衣（事務局員）
- 73「三重県人権大学講座修了者フォローアップ研修会」（2011.3.6）
主催：（財）反差別・人権研究所みえ
内容：いのちの食べ方を問う 食卓の牛肉から見える世界
対象：講座修了生
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 74「高校生スプリングセミナー」（2011.3.24-26 /計3回）
主催：JICA大阪
内容：世界と足もとをつなぐ（子どもの人権、格差、国際協力）
対象：高校生
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 75「ファシリテーション基礎研修」（2011.3.31）
主催：長浜バイオ大学
内容：ファシリテーター養成講座
対象：大学の教職員
派遣者：中村絵乃（事務局長）
- 76「総合教育演習」（2010.9.30-2011.1.25 /計26回）
主催：横浜市立大学
内容：開発教育について
対象：大学生
派遣者：中村絵乃（事務局長）

<資料3> 「名義後援」の実績一覧

(計:14件)

- ① 教育協力NGOネットワーク 「世界一大きな授業」(2010年4月18日～24日)
- ② (財)日本クリスチャンアカデミー 「開発教育セミナー2010」(2010年5月～12月)
- ③ 日本国際理解教育学会第20回研究大会実行委員会「日本国際理解教育学会第20回研究大会」(2010年7月2日～4日)
- ④ (特活)ACE「2010年度ACEチョコファシリテーター育成連続講座」(2010年4月24日～7月31日)
- ⑤ NGOスタディツアー・ワークキャンプネットワーク「国際協力はじめの一步」(2010年5月22日、6月22日、7月11日)
- ⑥ (財)滋賀県国際協会 「平成22年度国際教育ワークショップ」(2010年7月17日)
- ⑦ 第5回中国地区開発教育スキルアップ連続講座実行委員会「第5回中国地区開発教育スキルアップ連続講座実行委員会」(2010年9月19日～20日)
- ⑧ 武蔵野市国際交流協会 「夏期教員ワークショップ2010」(2010年7月29日～30日)
- ⑨ 宇都宮大学国際学部 多文化公共圏センター「グローバル教育セミナーと地域の生活～フェアトレード～地域を考える」(2010年7月3日)
- ⑩ (財)かながわ国際交流財団 「地球市民学習のための教材総合展」(2010年8月18日～19日)
- ⑪ (特活)関西NGO協議会「第24回関西NGO大学」(2010年9月～2011年2月)
- ⑫ 東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター
「多文化協働実践研究・全国フォーラム(第4回)」(2010年11月27日～28日)
- ⑬ (財)滋賀県国際協会 「平成22年度国際教育教材体験フェア」(2011年2月19日)
- ⑭ 立正佼成会青年本部 「青年の日」(2011年5月15日を中心に)

以上